

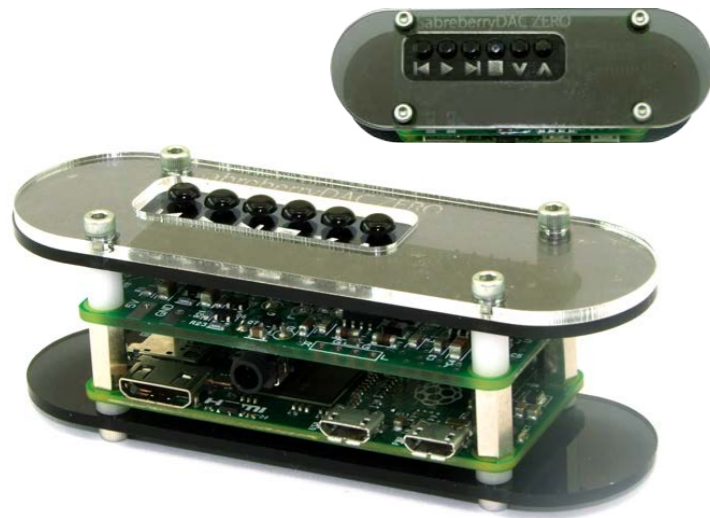
# SabreberryDAC ZERO用 アクリルベース KP-SBDAC02

第1版 20171125

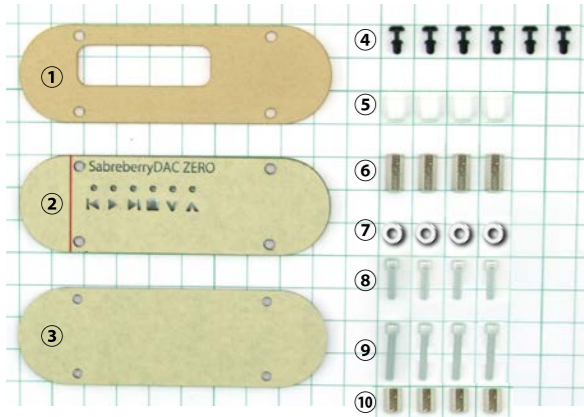
## 【組立説明書】

共立プロダクツ  
KYOHITSU PRODUCTS

ケース



### ■内容物説明



- ①アクリル板(天板) ×1
- ②アクリル板(中板) ×1
- ③アクリル板(底板) ×1
- ④プッシュリベット ×6
- ⑤樹脂スペーサー(長) ×4
- ⑥金属スペーサー(長) ×4 ※
- ⑦樹脂スペーサー(短) ×4
- ⑧キャップスクリュー(短) ×4
- ⑨キャップスクリュー(長) ×4
- ⑩金属スペーサー(短) ×4 ※

※組立手順(5)において、使用するスペーサーが異なります。

▶Raspberry Pi Zero(Zero W)とSabreberryDAC ZEROをヘッダーピンとヘッダーソケットで接続する場合、⑥金属スペーサー(長)を使用してください。

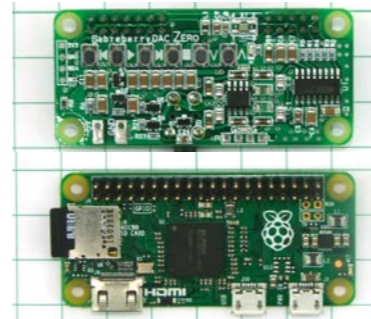
▶Raspberry Pi Zero(Zero W)とSabreberryDAC ZEROをヘッダーピンに直接ハンダ付けして接続する場合⑩金属スペーサー(短)を使用してください。

### ■製品概要

SabreberryDAC ZEROを搭載したRaspberry Pi Zeroで利用できるアクリルケースです。オーディオ用マーキングによる、わかりやすい操作とプッシュリベットによるスイッチトップ付きで操作しやすいのが特徴です。また、φ3.5mm ヘッドホンジャックやmicroSD、microUSB、HDMIの各コネクタにもアクセスが可能です。

### ■別途ご用意いただくもの

- ・Raspberry Pi Zero または Zero / W
  - ・Sabreberry DAC ZERO
- (いずれも本製品には含まれません)



- ### ■組み立てに必要な工具
- ・2.5mm 六角レンチ ×1 本

### ■組み立てかた

(1) アクリル板の保護紙をはがします。はがしにくいときは、水に浸けるとはがしやすくなります。



(2) アクリル板(底板)にキャップスクリュー(短)を下図のとおり下から穴に差し込みます。



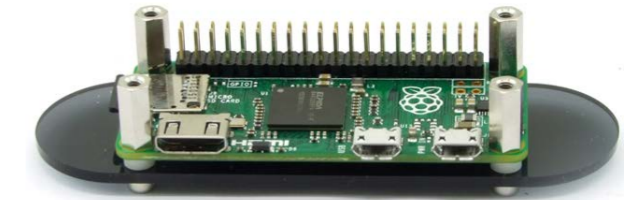
(3) 樹脂スペーサーにキャップスクリュー(短)を通します。



(4) Raspberry Pi Zero(Zero W)のネジ穴にキャップスクリュー(短)を通します。

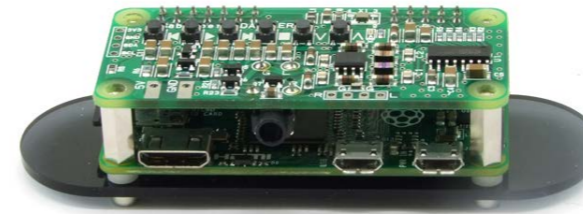


(5) 金属スペーサー(長)\*をキャップスクリュー(短)にねじ込みます



※ここでRaspberry Pi Zero(Zero W)とSabreberryDAC ZEROをヘッダーピンに直接ハンダ付けして接続する場合、⑩金属スペーサー(短)を使用してください。

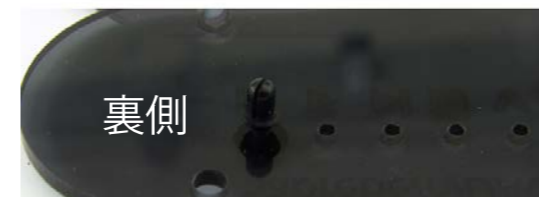
(6) Raspberry Pi Zero(Zero W)とSabreberryDAC ZEROを接続します。  
※詳細はSabreberryDAC ZEROの説明書をご覧ください



(7) アクリル板(中板)を用意します。中板のマーキングの穴にプッシュリベットをセットします。



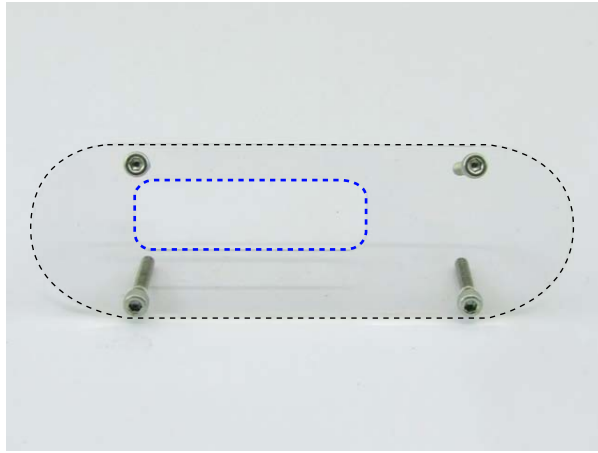
(8) 下図の通り、中板の表側にプッシュリベットの頭部を差し込み、裏側から脚部でプッシュリベットを固定します。



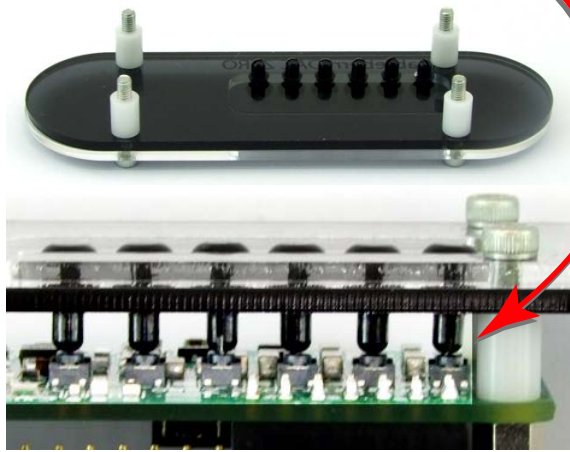
(9) プッシュリベットを合計6個セットします。プッシュリベットの脚部は、頭部が軽く止まる程度で固定してください。(入れすぎるとスイッチが押せなくなります)



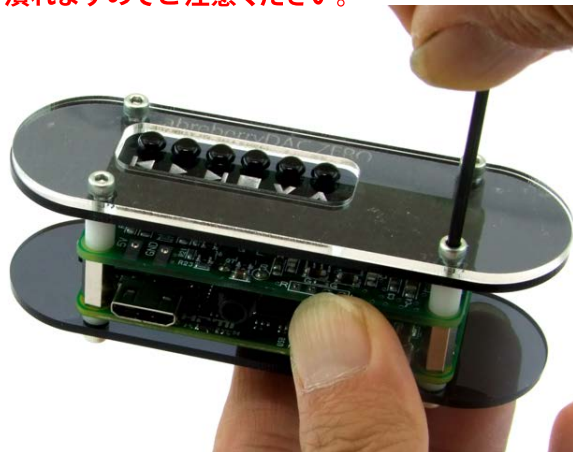
(10) アクリル板(天板)のネジ穴にキャップスクリュー(長)を通します。中窓の向きは下図の破線のとおり左上寄りになる面が上面側です。



(12) キャップスクリュー(長)を樹脂スペーサーに通し、天板・中板と一緒にSabreberryDACの上に重ねます。その際、SabreberryDAC基板上的スイッチと中板のプッシュリベットの位置を必ず合わせてください。



(14) キャップスクリュー(長)を2.5mmの六角レンチで増し締めします。**キャップスクリューをねじ込みすぎると、ネジが潰れますのでご注意ください。**



(11) 中板と天板を重ねます。キャップスクリュー(長)を中板のネジ穴に通します。天板の中窓にプッシュリベットとマーキングが見えていることを確認します。



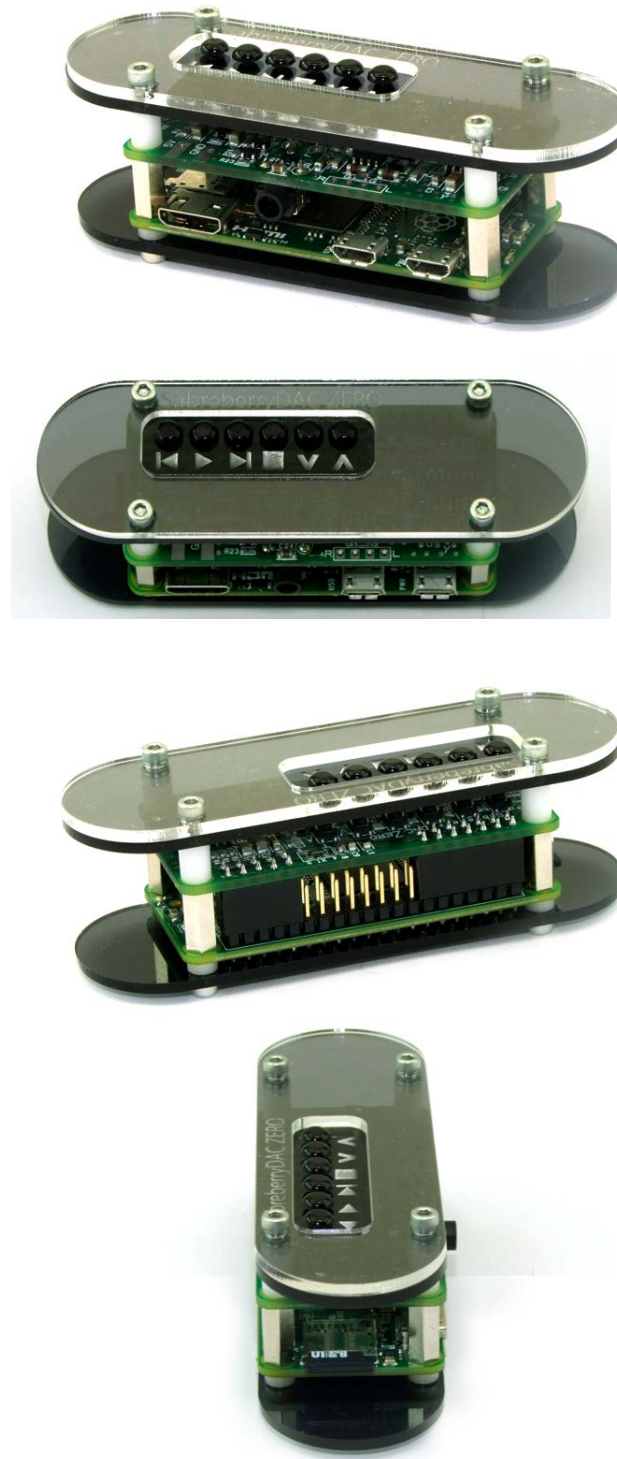
(13) キャップスクリュー(長)をSabreberryDAC ZEROのネジ穴に通し、手順(5)で取り付けた金属スペーサー(長)にねじ込みます。



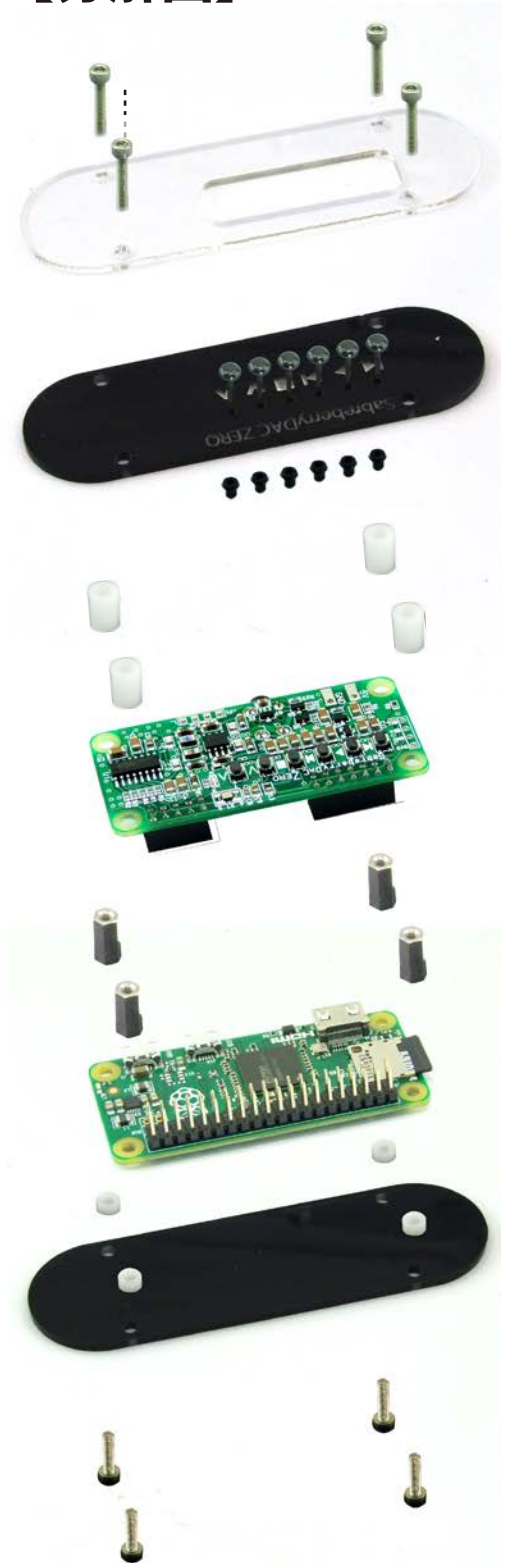
(15) 底面側のキャップスクリュー(短)も六角レンチで増し締めします。**こちらもねじ込みすぎに注意してください。**



## 【完成】



## 【分解図】



**製品の保証について**

- ・本製品およびそれらを構成するパーツ類は、改良・性能向上のため予告なく仕様・外観等を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本製品は組立キットです。製作中の安全確保のため説明書をよくお読みになり、正しい工具の使用・手順を守ってください。
- ・完成品でない商品の性格上、組み立て後にお客様が期待される性能・品質・安全運用等の保証はできません。完成後はお客様(組立業者)ご自身の責任のもとでご使用ください。
- ・本製品は機器への組込み他、工業製品としての使用を想定した設計は行っていません。また、本製品に起因する直接、間接の損害につきましては当社修理サポートの規定範囲を超えての補償には応じられません。
- ・本製品はハードのみでの供給・補償となります。プログラムなどソフト面でのご質問はお答えできません。

Electronic Devices, Parts, Kits & Robots 共立電子産業株式会社 共立プロダクツ事業所  
**KYORITSU**  
 〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1  
 TEL:06-6644-4447 FAX:06-6644-4448

【“共立プロダクツ”ブランドとは】  
 当ブランドの製品はユーザーニーズを捉えた製品をリーズナブルな価格でのご提供を目指しています。そのためユーザーサポートはメールに限定しておりますことをご理解、ご了承ください。  
 ✉Email:wonderkit@keic.jp  
 Twitterやblogで応用例や製品紹介を更新中です。ぜひご覧ください。 共立プロダクツ 検索